

患者さまへ

「術後ホルモン療法とマンモグラフィ・乳房構成および MRI・BPE(background parenchymal enhancement)*の関連についての検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

※BPE(background parenchymal enhancement)とは背景乳腺の増強効果を反映する用語です。BPE が強いというのは背景乳腺の染まりが強いという事で、病変が埋もれて見つけにくくなります。

1 研究の対象	2014 年 1 月～2023 年 12 月に当院で乳がんの手術を受けられた女性の方
2 研究目的・方法	ホルモン療法が乳房の画像検査に及ぼす影響について、通常の診療で得られた記録を用いて検討します。 乳がんリスクの一つである高濃度乳房(マンモグラフィで白くうつる乳腺が多い乳房)の検査画像上での変化とホルモン療法による影響を調べます。これにより画像検査がホルモン療法の治療効果(乳がん発生が抑制され、再発が抑制される)の判定につながる可能性について研究します 研究の期間: 施設院長許可(2024 年 5 月予定)後～2033 年 12 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長・体重、病歴、家族歴、抗がん剤治療の治療歴、ホルモン療法の治療歴、マンモグラフィや MRI 画像などから得られるデータ 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 淵上ひろみ(研究責任者) 東京西徳洲会病院、乳腺腫瘍科・部長 住所: 東京都昭島市松原町三丁目 1-1 連絡先: 042-500-4433(病院代表)